

第3回北九州医療・介護連携プロジェクト会議

日時 平成31年2月14日（木）19：00～20：30

場所 北九州市役所 3階 大集会室

議 題

報告1：現状調査に関する報告

1. 「現状調査」の作成

※別紙1、2、3、4

2. 医療・介護連携に関する調査結果と現状調査説明会

※別紙1、5、6

3. 現状調査の回収状況

※別紙1

4. 現状調査の結果（速報）

※別紙7

協議1：病院窓口ガイドの今後のスケジュール

※別紙8、9、10

→別紙9、10については別に公表するため、
会議資料としては非公表扱いとする

協議2：体系的な研修の構築について

※別紙11

協議3：その他今後進める取組について

※別紙12

北九州医療・介護連携プロジェクト会議 現状調査に関する報告

1. 「現状調査」の作成

平成 30 年 11 月 19 日 第 3 回作業部会

平成 30 年 12 月 6 日 第 4 回作業部会

2. 医療・介護連携に関する調査結果と現状調査説明会

【病院向け説明会】

日 時 平成 30 年 12 月 17 日（月）18：30～20：00

場 所 ウェルとばた 多目的ホール

参加者 52 病院 106 名（安藤構成員、閑地構成員、藤好構成員）

参 考：アンケート集計結果より

門司 11 名、小倉北 31 名、小倉南 19 名、若松 4 名、八幡西 15 名、八幡東 12 名、戸畑 6 名
救急（病棟）5 名、（連携）25 名、その他病院（病棟）47 名、（連携）22 名

【訪問看護事業所・CM 事業所向け説明会】

日 時 平成 30 年 12 月 19 日（水）21 日（金）18：30～20：00

場 所 北九州市立商工貿易会館、コムシティ

参加者 211 事業所 263 名（加藤構成員、白木構成員、坪根構成員）

参考：アンケート集計結果より

門司 32 名、小倉北 49 名、小倉南 44 名、若松 22 名、八幡西 72 名、八幡東 30 名、戸畑 12 名
CM 104 名、主任 CM 94 名、看護師 45 名、事務員他 18 名

3. 現状調査の回収状況

(1) 回答病院 49 病院（うち、※ 4 病院が病院窓口ガイドの非公表を希望）

(2) 回答待ちの病院（調査への協力意向はあり） ※ 6 病院

(3) 今後協力依頼を行う予定の病院 ※ 15 病院

4. 現状調査の結果（速報）

- ・病院用集計結果
- ・訪看・CM事業所用集計結果
- ※診療所は調査中

現状調査

(病院用)

締め切り：平成31年1月18日(金)

本調査は、傾向を調べる調査ではなく、

病院や地域の在宅関係者(かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問看護ステーション、高齢者施設など)の負担軽減を目指した(仮)病院窓口ガイド(公表予定)を作成するために

実施するものです。

大変複雑な調査内容となっておりますが、更新を除き、**今回一度しか同様の調査は行いません。**

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、回答にあたりましては、

- すべての入院のケースではなく、**65歳以上の高齢者(介護保険第1号被保険者)の入院を想定して**
- 個人としての感覚や取扱いではなく**病院の各部署の組織としてのルール・業務マニュアル等を元に**

回答ください。ご不明な点等ございましたらご連絡ください。

平成30年12月

(回答者)※複数で回答された場合は、代表の方1名を記載してください。回答内容の確認などのために連絡する場合があります。

病院名：	部署：	役職：	氏名：	職種：	【担当】 北九州医療・介護連携プロジェクト会議事務局 (北九州市保健福祉局地域医療課内) 担当 佐藤・山本 TEL 093-582-2678 FAX 093-582-2598 MAIL ho-iryuu@city.kitakyushu.lg.jp
電話番号：	FAX：	メール：			

医療・介護連携に関する調査(以下、「ニーズ調査」)にご協力いただき深く感謝いたします。

本調査は、ニーズ調査の結果を受け、今後の具体的な取組(ルール・ツール等)を作成するために実施するものです。
前提として

- ・病院内において、患者が**入院する場面**(予定入院・当日入院・救急・転院)に応じて、**在宅関係者**(かかりつけ医、ケアマネジャー、訪問看護ステーション、高齢者施設など。以下同じ)が「患者情報を送る(渡す)べき部署」が異なる
- ・**入院後も**、「患者情報を送る(渡す)べき部署」、「退院に向けた連絡・調整をする部署」、「退院後に問い合わせる部署」が**変わっていく**
- ・このため、**在宅関係者**が患者の情報を送る(渡す)際に、スムーズに「患者情報を送る(渡す)べき部署」などを見つけることが**難しい**
- ・一方、病院内の部署が変わっても、**病院が必要とする基本的な患者情報は同じ**

という視点に立ち調査設計をしています。

【本調査結果を受け、作成するもの(イメージ)】

- ① **各病院の入退院時の窓口連絡先・担当者、各病院での独自のルールなど内容一覧** → 本調査結果をとりまとめた後、**北九州市HPで公表**を予定。
※(仮)病院窓口ガイド(公表予定の物)を作成後に、改めて病院に確認いただきます。
 - ② 本人のキーパーソンについて、必要最低限の情報が記載された市共通のカード
 - ③ 今までの既往歴や家族の情報、医療機関や介護事業所の関わった経過などを記載する市共通の冊子・ファイル
 - ④ 患者・利用者に関わる医療機関や介護事業所の間で受け渡しする市共通の情報共有シート(項目の共通化)
- 調査結果を受け、最も現実的かつ効果的なものを作成。
※既存の情報の提供ルールになる可能性もあり

【(仮)病院窓口ガイド作成までのスケジュール】

平成30年12月17日 現状調査 開始

平成31年1月18日 現状調査 締め切り ※早く回答をいただいた病院から順次、(仮)病院窓口ガイド(公表予定の物)の確認をさせていただきます。
早期の公表を目指しております。ご協力お願いいたします。

平成31年1月中旬～(仮)病院窓口ガイドの内容確認 ※病院毎に実施

平成31年2月中旬 (仮)病院窓口ガイドの公表

※上記②～④については、調査結果を受け、北九州医療・介護連携プロジェクト会議にて作成する物を検討。平成31年度からモデル実施を予定。

※回答に**あたり本調査の前提と貴院の実情が大きく異なり回答が難しい場合は、個別にヒアリングに伺いたい**と考えておりますので、お手数ですが事務局までご連絡ください。

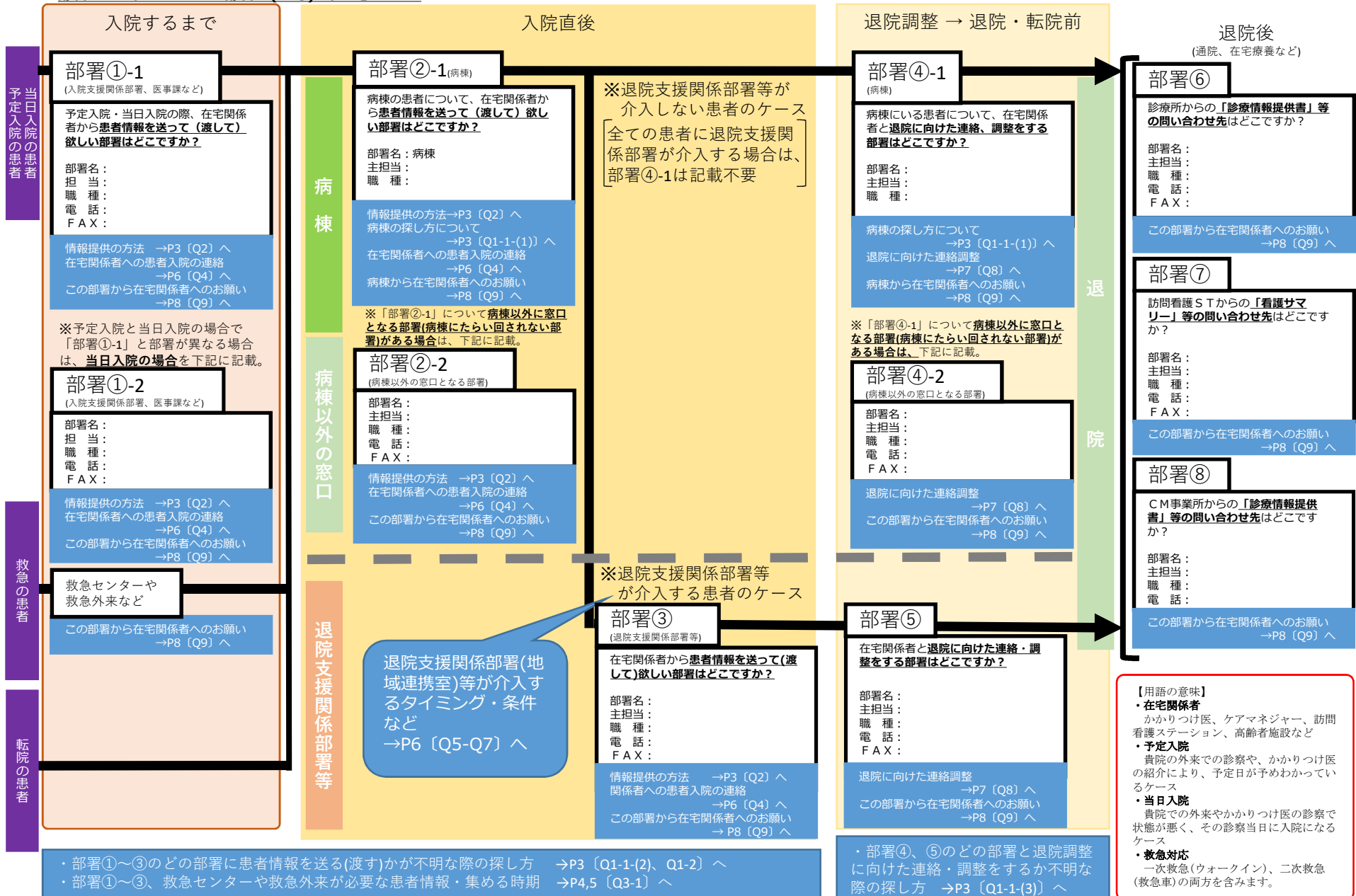
病院内窓口フローチャート(フロー)

【病院名： _____】

下記①～⑧のそれぞれの役割を担う部署を記入してください。

※特定の部署(〇〇センターや△△室など)や担当(〇〇係など)がない場合は、外部から連絡しても部署や担当が特定されるような(たらい回しにされないような)表現で記入してください。

※部署名等が同じ場合は「部署〇(番号)と同じ」と記入ください。



公表 【「患者情報の送り(渡し)先」の探し方について】

Q1-1: 在宅関係者が病院の担当者に患者情報を送りたい、病院の担当者へ退院に向けた連絡・調整をしたいと考えた際に、「フローのどの部署」に連絡したら良いかわからずに「たらい回しにされる」という声があります。

家族等から患者の入院状況等(どの病棟にいるか、担当が誰かなど)の情報が得られない

又は、

家族等が入院状況等をおおまかにしか覚えていない際に、

下記のケースで在宅関係者が「患者情報を送る(渡す)部署」や「退院に向けた連絡・調整をする部署」を貴院から知るためには、**どうすればいいですか。**

※案内ができる窓口の部署がある場合は、**部署名と連絡先(電話、FAX)を記入してください。**

フローの部署②-1、④-1

(1) 複数ある**病棟**のうち、どの病棟に患者情報を送ったり、退院に向けた連絡・調整をするかを知りたい場合

フローの部署①～③

(2) 入院直後までに関わる**複数ある部署**のうち、どこに患者情報を送るかを知りたい場合

フローの部署④～⑤

(3) 複数の**退院調整の部署**のうち、どこと連絡調整するかを知りたい場合

公表 ※「1. ある」を回答した場合のみ

Q1-2: Q1-1の全ての場合に対応している(患者・住民向けではなく)専門職である在宅関係者向けの総合的な窓口(困りごと相談なども含む)はありますか。

1. ある ⇒ 部署名: _____
 電 話: _____
 F A X: _____

2. ない

公表 【各部署への情報提供の方法】

Q2-1: 在宅関係者から各部署へどのようにして患者情報を送る(渡す)ことを希望しますか。部署毎に希望する内容の選択肢を記入してください。(複数回答可)

1. FAX
2. 電話
3. 郵送
4. 持参
5. どれでもよい

部署①-1	部署①-2	部署②-1	部署②-2	部署③

公表

Q2-2: 在宅関係者から各部署へたらい回されずに確実に患者情報を送る(渡す)ために、どのようなことに注意して欲しいですか。部署毎に希望する内容の選択肢を記入してください。(複数回答可)

1. Q2-1をする際に必ず電話連絡を希望する
2. 送り先は部署名を書く
3. 送付物に「患者情報提供書在中」と朱書きする
4. 郵送物に名刺をいれる
5. 入院前の場合は入院日を書いておく
6. その他 ()
7. その他 ()

部署①-1	部署①-2	部署②-1	部署②-2	部署③

No	項目	入院患者に対して確認する基本的な患者情報に「○」をつけてください。				③左記「①在宅関係者から送って欲しい患者情報」で「○」をつけた情報は、現在、在宅関係者から送られてきますか？ ◎：よく来る(感覚的に7割以上) ○：来る x：あまり来ない(感覚的に3割未満)		※救急告示病院のみ回答ください。	
		①在宅関係者から送って欲しい患者情報はどれですか。 下記の項目に「○」をつけてください。		④送られてくるタイミングは？ ○：適切 x：遅い ※③が「◎、○」の場合に回答ください。	⑤必要な内容が書かれている場合が多いですか？ ○：多い x：少ない ※③が「◎、○」の場合に回答ください。	救急対応の患者に対して救急センター、救急外来などで患者の付添人(家族、施設職員等)などが持参してほしい情報に「○」をつけてください。	左で「○」をつけた情報を現在、患者の付添人などは持参していますか。 ◎：よく来る(感覚的に7割以上) ○：来る x：あまり来ない(感覚的に3割未満)		
		②在宅関係者から遅くともいつまでに欲しいですか。 ※①に「○」をつけた場合に回答							
1	基本情報	・氏名 ・生年月日 ・住所 ・電話番号 ・家族情報	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・氏名 ・生年月日 ・住所 ・電話番号 ・家族情報			
2	生活状況	・現在の生活状況 ・生活歴	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・現在の生活状況 ・生活歴			
3	被保険者情報	・介護保険 ・医療保険 ・生活保護 ・障害者手帳の有無	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・介護保険 ・医療保険 ・生活保護 ・障害者手帳の有無			
4	現在利用しているサービスの情報	・介護保険給付内外を問わず現在受けているサービスの状況	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・介護保険給付内外を問わず現在受けているサービスの状況			
5	障害高齢者の日常生活自立度	・障害高齢者の日常生活自立度	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・障害高齢者の日常生活自立度			
6	認知症である高齢者の日常生活自立度	・認知症である高齢者の日常生活自立度	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・認知症である高齢者の日常生活自立度			
7	主訴	・主訴 ・要望	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・主訴 ・要望			
8	認定情報	・要介護区分	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・要介護区分			
9	課題分析(アセスメント)理由	・課題分析(アセスメント)理由	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・課題分析(アセスメント)理由			
10	健康状態	・身長、体重 ・栄養状態 ・既往歴 ・主傷病 ・症状 ・服薬情報 ・バイタル ・アレルギー	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・身長、体重 ・栄養状態 ・既往歴 ・主傷病 ・症状 ・服薬情報 ・バイタル ・アレルギー			
11	ADL	・寝返り ・起き上がり ・移乗 ・歩行 ・更衣 ・入浴 ・排泄 ・整容	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・寝返り ・起き上がり ・移乗 ・歩行 ・更衣 ・入浴 ・排泄 ・整容			
12	IADL	・調理 ・掃除 ・買い物 ・金銭管理 ・服薬管理 ・交通機関の利用	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・調理 ・掃除 ・買い物 ・金銭管理 ・服薬管理 ・交通機関の利用			
13	認知	・日常の意思決定能力(自己選択・自己決定)	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・日常の意思決定能力(自己選択・自己決定)			
14	コミュニケーション能力	・意思の伝達 ・視力 ・聴力等のコミュニケーション	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・意思の伝達 ・視力 ・聴力等のコミュニケーション			
15	社会との関わり	・社会との関わり	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・社会との関わり			

No	項目	入院患者に対して確認する基本的な患者情報に「○」をつけてください。				※救急告示病院のみ回答ください。	
		①在宅関係者から送って欲しい患者情報はどれですか。 下記の項目に「○」をつけてください。		③左記「①在宅関係者から送って欲しい患者情報」で「○」をつけた情報は、現在、在宅関係者から送られてきますか。 ◎：よく来る(感覚的に7割以上) ○：来る ×：あまり来ない(感覚的に3割未満)		救急対応の患者に対して救急センター、救急外来などで患者の付添人(家族、施設職員等)などが持参してほしい情報に「○」をつけてください。	左で「○」をつけた情報を現在、患者の付添人などは持参していますか。 ◎：よく来る(感覚的に7割以上) ○：来る ×：あまり来ない(感覚的に3割未満)
		②在宅関係者から遅くともいつまでに欲しいですか。 ※①に「○」をつけた場合に回答	④送られてくるタイミングは？ ○：適切 ×：遅い ※③が「○、○」の場合に回答ください。	⑤必要な内容が書かれている場合が多いですか？ ○：多い ×：少ない ※③が「○、○」の場合に回答ください。			
16	排尿・排便	・尿意、便意 ・失禁状況 ・排泄用具 ・頻度 ・緩下剤の使用	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・尿意、便意 ・失禁状況 ・排泄用具 ・頻度 ・緩下剤の使用	
17	褥瘡・皮膚の問題	・褥瘡の有無、程度 ・皮膚の清潔状況	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・褥瘡の有無、程度 ・皮膚の清潔状況	
18	口腔衛生	・義歯の有無 ・口腔内の状態や口腔衛生に関すること	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・義歯の有無 ・口腔内の状態や口腔衛生に関すること	
19	食事摂取	・摂取の状況 ・食事回数 ・食事形態 ・水分量 ・嚥下の状態	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・摂取の状況 ・食事回数 ・食事形態 ・水分量 ・嚥下の状態	
20	問題行動	・徘徊や暴言暴行 ・介護の抵抗 ・被害妄想 ・火の不始末 ・収集癖	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・徘徊や暴言暴行 ・介護の抵抗 ・被害妄想 ・火の不始末 ・収集癖	
21	介護力	・キーパーソン ・主介護者 ・主介護者の状況、負担感	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・キーパーソン ・主介護者 ・主介護者の状況、負担感	
22	居住環境	・自宅の情報 ・改修の必要性	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・自宅の情報 ・改修の必要性	
23	特別な状況	・医療ケア ・虐待などに関すること	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・医療ケア ・虐待などに関すること	
24	関係する医療・介護関係者	・かかりつけ医、 ・利用している介護事業所	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・かかりつけ医、 ・利用している介護事業所	
25	個人の特徴	・性格や趣味 ・習慣 ・嗜好品(飲酒・喫煙) ・一日の過ごし方	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・性格や趣味 ・習慣 ・嗜好品(飲酒・喫煙) ・一日の過ごし方	
26	経済状況	・収入 ・経済上の問題の有無	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・収入 ・経済上の問題の有無	
27	退院後の希望(専門職)	・退院後の見通し(在宅か施設か)	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・退院後の見通し(在宅か施設か)	
28	退院後の希望(家族等)	・退院後の見通し(在宅か施設か)	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・退院後の見通し(在宅か施設か)	
29	延命処置の希望	・延命処置の希望	・入院当日まで ・入院から3日以内 ・退院調整を始めるまで			・延命処置の希望	
30	その他 ()					※救命センター、救急外来でのチェックリストを添付して返送してください。	

公表

Q4：入院直後に在宅関係者とのように連絡調整していますか。
※前提は、在宅関係者がいる患者です。

Q：患者が入院した際の第一報を在宅関係者に行っていますか？	・していない	
	・している (一部の患者のみに行っている場合も含む)	

「している」に「○」をつけた場合は、下記に回答ください。

Q：患者像で該当するものに「○」をつけてください。 (複数回答可)	・すべての患者	
	・在宅関係者から希望があれば連絡している	
	・独居	
	・老老などで家族に期待できない	
	・服薬に関して不安がある	
	・通院に関して不安がある	
	・介護サービスが必須	
	・介護サービス以外のサービスが必要	
	・虐待等の恐れがある	
	・認知症がある	
・その他		

Q：どの部署が連絡していますか。フローの①～③の部署を記入してください。部署

Q：連絡方法で該当するものに「○」をつけてください。	・電話	
	・FAX	
	・患者本人・家族から連絡させる	
	・その他 ()	

Q：時期で該当するものに「○」をつけてください。	・入院当日	
	・入院から3日以内	
	・入院から7日以内	
	・入院からおおよそ () 日以内	日以内
	・特に定まっていない	

Q：備考：上記に該当しないケースなど

非公表

【退院支援関係部署(地域連携室)等について】

Q5：退院支援関係部署(地域連携室)等が介入することを検討するタイミングと手続きについて選択してください。該当するものに「○」をつけてください。(複数回答可)

1. 入院直後に病棟がスクリーニングを行い、その結果に基づき、介入を決定する
2. 入院直後から定期的に病棟と退院支援関係部署(地域連携室)等が合同でカンファレンスを行い、その結果に基づき、介入を決定する
3. 退院支援関係部署(地域連携室)等が入院患者のスクリーニングを行い、その結果に基づき、介入を決定する

非公表

Q6：退院支援関係部署(地域連携室)等が介入し始めるまでに要する期間は概ねどのくらいですか。最も多いものに「○」をつけてください。

1. 入院日～3日目以内
2. 入院4日目～7日目以内
3. 入院7日目以降

非公表

Q7：退院支援関係部署(地域連携室)等が介入する患者の基準等がありますか？該当するもの一つに「○」をつけてください。

1. すべての患者
2. 入退院支援加算の退院困難な要件を基準としている
3. 入退院支援加算の退院困難な要件とは別の病院独自の項目がある
(例：)
4. その他、基準に合わなくとも、カンファレンス等の結果により、介入している患者がいる(例：)

参考：入退院支援加算の退院困難な要件

- ・悪性腫瘍、認知症又は誤嚥性肺炎等の急性呼吸器感染症のいずれかであること
- ・緊急入院であること
- ・要介護状態であるとの疑いがあるが要介護認定が未申請であること
- ・家族又は同居者から虐待を受けている又はその疑いがあること
- ・生活困窮者であること
- ・入院前にADLが低下し、退院後の生活様式の再編が必要であること(必要と推測されること)
- ・排泄に介助を要すること
- ・同居者の有無に関わらず、必要な養育又は介護を十分に提供できる状況にないこと
- ・退院後に医療処置(胃瘻等の経管栄養法を含む。)が必要なこと
- ・入退院を繰り返し替えていること

Q 8 : 退院に向け、在宅関係者とのように連絡調整していますか。 ※前提は、在宅関係者がいる患者です。

		入院中		退院調整		
		在宅関係者を交えた院内カンファレンス		退院見込時期連絡	退院カンファレンス	退院前自宅訪問
Q : 上記の内容を実施していますか。 該当するものに「○」をつけてください。	・していない					
	・している (一部の患者のみに行っている場合も含む)					

「している」に「○」をつけた場合は、下記に回答ください。

Q : 患者像で該当するものに「○」をつけてください。 (複数回答可)	・すべての患者						
	・在宅関係者から希望があれば連絡している						
	・独居						
	・老老などで家族に期待できない						
	・服薬に関して不安がある						
	・通院に関して不安がある						
	・介護サービスが必須						
	・介護サービス以外のサービスが必要						
	・虐待等の恐れがある						
	・認知症がある						
	・その他						
Q : どの部署が連絡していますか。フローの④～⑤の部署を記入してください。	部署			部署	部署	部署	
Q : 連絡方法で該当するものに「○」をつけてください。	・電話						
	・FAX						
	・患者本人・家族から連絡させる						
	・その他 ()						
Q : 時期で該当するものに「○」をつけてください。	・入院当日			・退院日の3日前まで			
	・入院から3日以内			・退院日の7日前まで			
	・入院から7日以内			・退院日の2週間前まで			
	・入院からおおよそ () 日以内		日以内	・退院からおおよそ () 日前まで	日前	日前	日前
	・特に定まっていない			・特に定まっていない			
Q : 備考 : 上記に該当しないケース							

【その他 在宅関係者へのお願い】

Q9：部署ごとに在宅関係者へのお願いがある場合、記入してください。

部署	専門職等	共通	かかりつけ医	訪問看護ステーション	ケアマネ事業所	施設
部署①-1	入院支援関係部署 医事課など		例：診療情報提供書は院内のスタッフも確認しますので、略称は避け、丁寧な字で記載してください。		例：情報提供は入院前でも受け付けます。 例：郵送で情報提供する際は、担当医師、看護師名ではなく、該当する部署宛をお願いします。	
※ある場合のみ						
部署①-2	入院支援関係部署 医事課など					
部署②-1	病棟		例：カンファレンスの参加可能日や時間帯をお尋ねしますので、できるだけご参加ください。		例：退院調整担当との打ち合わせ希望等ありましたら早目にご連絡ください。	
※ある場合のみ						
部署②-2	病棟以外の窓口部署					
部署③	退院支援関係部署等					
部署④-1	病棟					例：真施設で患者情報をまとめておき、救急搬送時に患者情報をいただきたい。
※ある場合のみ						
部署④-2	病棟以外の窓口部署					
部署⑤						
部署⑥						
部署⑦						
部署⑧						
救急センターや 救急外来						

現状調査にご協力いただきありがとうございました。
本調査結果を受け、

(仮)病院窓口ガイド

※各病院の入退院時の窓口連絡先・担当者、
各機関での独自のルール(各機関での決まりごと(ケアマネジャーからの
情報提供書の提出方法、退院調整の方法など))
を作成する予定です。

(仮)病院窓口ガイドの公表については、ガイド作成後に貴院に確認後、
公表したいと考えております。下記に「○」をつけてください。

- ・ 公表を希望する
- ・ 公表を希望しない

(相談担当者)

部署：	役職：	氏名：	職種：
電話番号：	FAX：	メール：	

北九州医療・介護連携プロジェクト会議 現状調査のお願い

このたびは、「在宅医療資源及び在宅医療の提供等に関する調査」にご協力いただきありがとうございます。

さて、北九州市では市と医療・介護関係団体が一体となり、医療・介護の連携をより促進するため北九州医療・介護連携プロジェクト会議を立ち上げました（平成30年8月）。

昨年9月からは、診療所を含め、市内の医療・介護専門職向けに「医療・介護連携に関する調査」を実施（約1,000人から回答。回答率80%）しました。（結果の概要は別紙のとおりです）この結果、現場では連携について多くの困りごとがあることがわかり、

①患者・利用者情報を引き継ぐためのツール

②各病院の入退院時の窓口や退院調整のルール等の一覧（ガイド）

が欲しいという声が多くありました。

この声を受け、上記の②として、現在、病院や地域のかかりつけ医、ケアマネジャー、訪問看護ステーションなどの負担軽減を目指した（仮）病院窓口ガイド（各病院の情報提供先や退院調整の方法がわかる物）の作成に向けた調査を行っております。

この中において、病院側からも

- ・診療所が、こういった患者が入院した時に、どのタイミングで連絡を欲しいと考えているか
- ・診療所が、こういった退院調整の対応や、病院側からどんな情報を出して欲しいと考えているか

を知りたいといった意見がありました。

そのため、診療所が病院に希望することの調査を「在宅医療資源及び在宅医療の提供等に関する調査」に合わせて、実施いたします。回答は任意ではございますが、次ページからの調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

【担当】

北九州市保健福祉局地域医療課 担当 佐藤・山本

T E L 093-582-2678 F A X 093-582-2598

MAIL ho-iryoku@city.kitakyushu.lg.jp

Q 1 : 貴院の主たる診療科を以下から選択してください。(2つまで)

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 1. 内科 | 2. 消化器内科 (消化器科) | 3. 胃腸内科 (胃腸科) |
| 4. 呼吸器内科 (呼吸器科) | 5. 循環器内科 (循環器科) | 6. 腎臓内科 |
| 7. 外科 | 8. 呼吸器外科 | 9. 脳神経外科 |
| 10. 整形外科 | 11. 消化器外科 | 13. 神経内科 |
| 14. リウマチ科 | 15. リハビリテーション科 | 16. 心療内科・精神科 |

Q 2 : 現在 (平成30年12月時点)、訪問診療を行っていますか?

1. している
2. していない

Q 3 : 病院側から、担当している患者が入院したことの情報 (第一報) の連絡がほしいのはどのような患者ですか? (複数回答可)

1. すべての患者
2. 入院前の状態まで回復しない (介護が必要になる) 見込みの利用者
3. 退院後、治療内容 (薬剤や訪問診療回数など) が変わる見込みの患者
4. 独居の患者
5. 老老世帯など介護力に不安がある患者
6. 服薬に不安がある患者
7. 通院に関して不安がある患者
8. 虐待等の恐れがある患者
9. ケアマネや訪問看護事業所がついていない患者
10. 特に希望はない
11. その他 ()

Q 4 : どのタイミングで担当している患者が入院した情報 (第一報) が欲しいですか?

1. 入院当日に連絡が欲しい
2. 入院3日以内に連絡が欲しい
3. 退院支援の担当者が決まった段階で連絡してほしい
4. 院内スタッフと本人・家族で今後の方向性を話し合う段階で連絡してほしい
5. 退院前カンファレンスや退院前自宅訪問などを決めていく前に連絡がほしい
6. 特に希望はない (病院側にお任せでよい)
7. その他 ()

Q5：どのタイミングで担当している患者の退院日（退院見込み）の連絡が欲しいですか？

1. できるだけ早く連絡が欲しい（日程は曖昧でもかまわない）
2. 退院のおおよそ2週間前には連絡してほしい
3. 退院のおおよそ1週間前には連絡してほしい
4. 退院2～3日前には連絡してほしい
5. 退院当日もしくは退院後の連絡でよい
6. 特に希望はない（病院側にお任せでよい）
7. その他（ ）

Q6：退院後、患者に最も適した医療を提供するために、退院調整の際、病院側にどのような対応して欲しいですか？（複数回答可）

1. 院内での治療・支援方針や予後の見立てを早めに共有してほしい
2. 病院スタッフが本人や家族と退院後について話し合いをした結果を報告してほしい
3. 退院前カンファレンスが開催される場合は声をかけてほしい
4. 退院後の医療について要望や必要な支援がある場合は早めに連絡してほしい
5. その他（ ）

Q7：退院後の治療方針を検討するために、病院側からどのような情報が欲しいですか？（複数回答可）

1. 入院期間・退院予定（見込み）時期
2. 退院後の生活において困難が予測される要因や問題点・課題
3. 入院中の看護やリハビリの目標設定、支援内容
4. 退院後に援助が必要だと思われるADLやIADL
5. 退院後に利用が予想されるサービス等
6. 退院後に予測される病状の変化（進行の仕方や見通しなど）や必要な治療
7. 退院後の生活について本人・家族の希望
8. 疾病（病状）に対する本人・家族の理解度
9. その他（ ）

Q 8 その他（病院へお願いしたいこと）

【入院時】※自由記載

【入院中】※自由記載

【退院時】※自由記載

【退院後】※自由記載

【その他】※自由記載

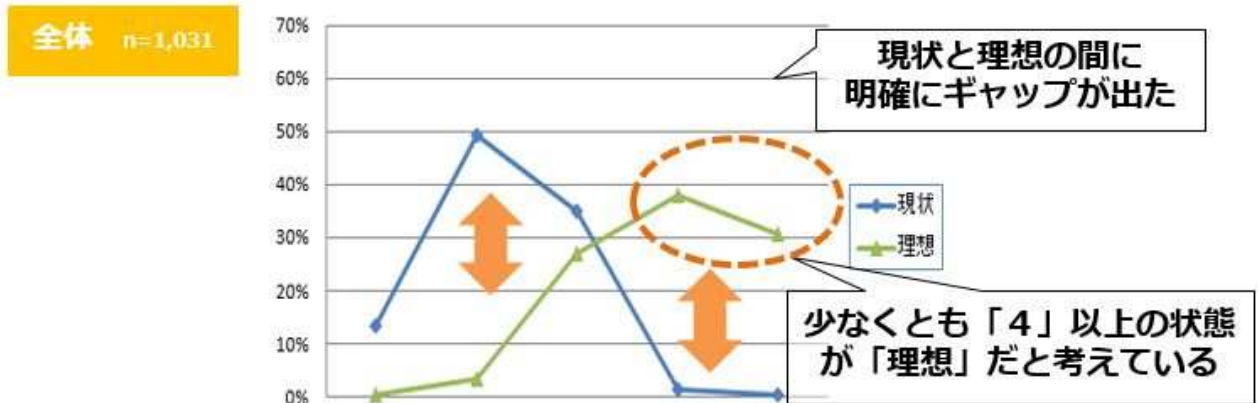
調査にご協力いただき、ありがとうございました。

別紙：医療・介護連携に関する調査結果（詳細は北九州市 HP で公開中）

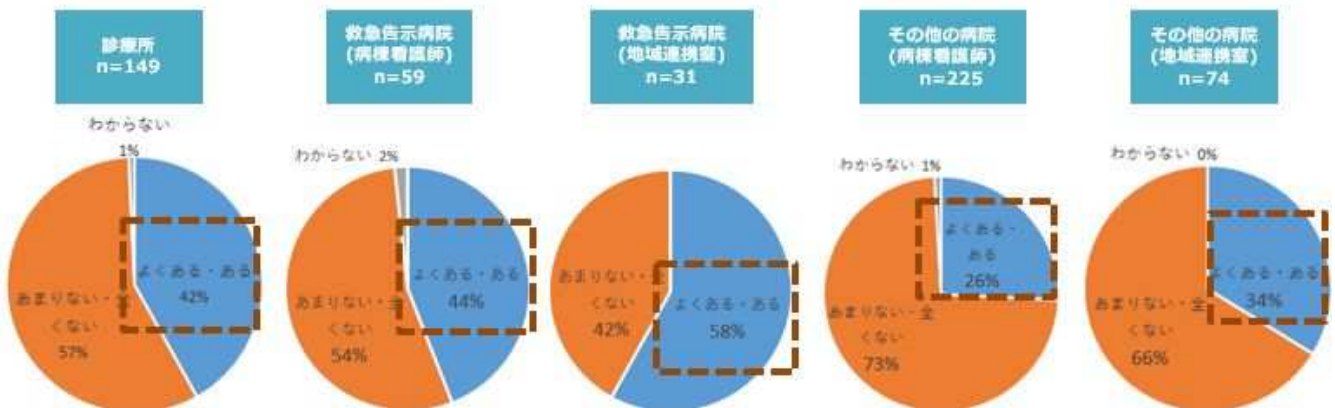
検索 医療・介護連携に関する調査

Q 患者・利用者情報の提供について「現状」と「理想」どれか (1つ選択)

- 1 問い合わせがあったときに個別に対応
- 2 それぞれの医療機関・事業所が必要と感じたときに対応
- 3 医療機関・事業所をこえた地域のルール・ツールにより対応
- 4 さらに、体系的な研修会が行われ、地域のルール・ツールが学べて定着し、効果（連携がよくなっているか）が数字でわかる
- 5 さらに、地域の新たな課題に基づいて、ルール・ツールを見直せる

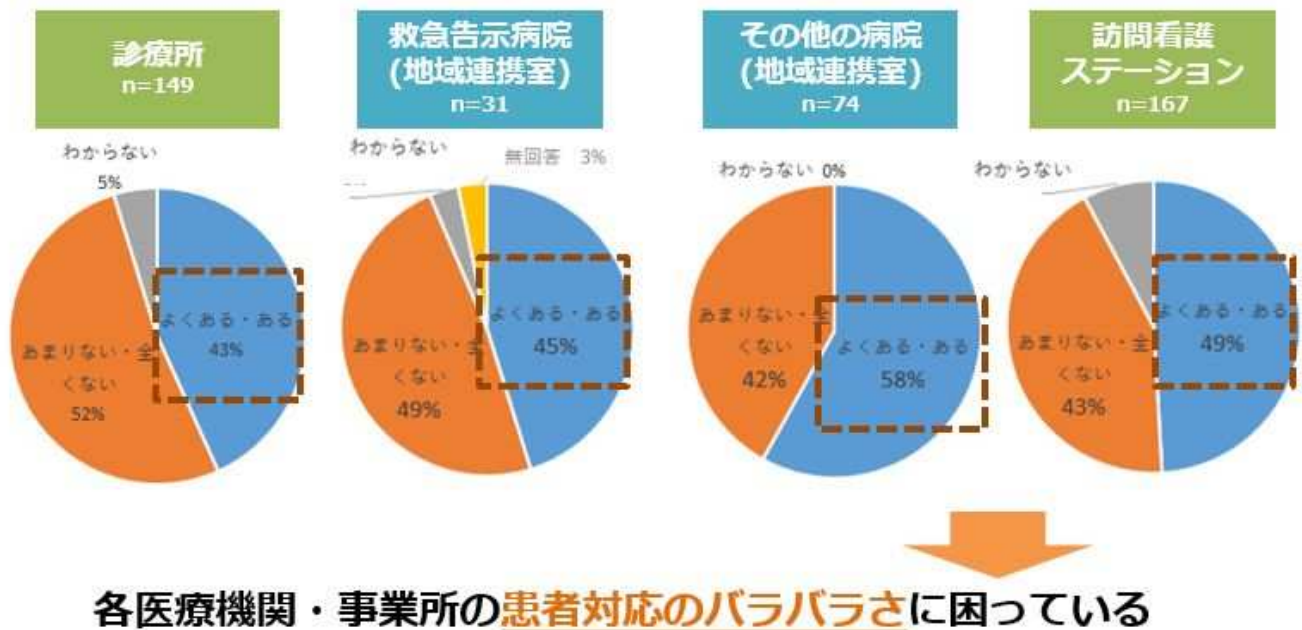


Q 新しく患者・利用者を引き受けるときに、今まで患者に関わっていた医療機関や事業所がわからない（情報が無い）ことがある



患者の情報の取得に（しかも基本的な情報すら）苦労している

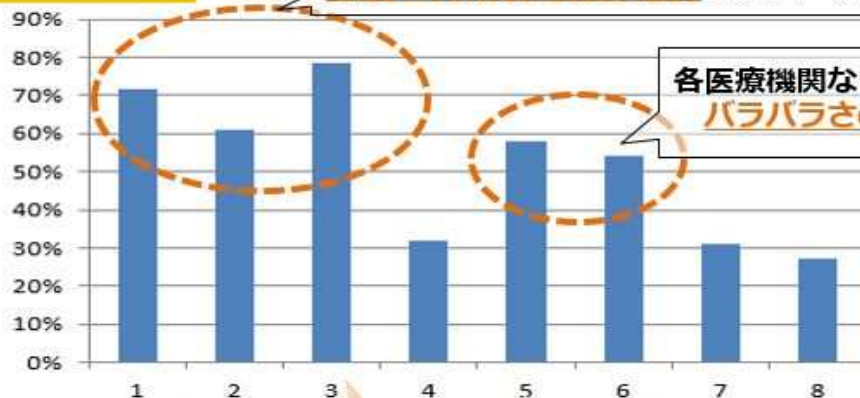
Q 医療機関や事業所で説明がバラバラで、家族が医療・介護の流れを理解しておらず、情報共有や入退院・転院がスムーズにいかない



Q 市内全体で効率よく患者・利用者情報が提供・共有される仕組みを作るためには、何が必要か？ (5つまで選択)

全体 n=1,031

患者・利用者情報の取得をスムーズにしたいと思っている



各医療機関などの取扱いの「見える化」やバラバラさの縮小などへの期待もある

1 かかりつけ医やケアマネの連絡先等が書かれた共通カード (患者・利用者が所持)

2 既往や家族情報、医療・介護の経過等を書く共通ファイル (患者・利用者が所持)

3 医療機関や介護事業所の間で受け渡す共通の情報共有シート

5 各機関の入退院時の窓口連絡先・独自ルール等の一覧

6 入退院時等に、どの医療機関や事業所でも使える患者・利用者への説明用パンフレット

北九州医療・介護連携プロジェクト会議

現状調査

(在宅関係/訪問看護 S T ・ C M 事業所用)

平成 30 年 12 月

Q 1 : あなたの事業所種別は何ですか？該当するものに「○」をつけてください。

1. 居宅介護支援事業所
2. 訪問看護事業所
3. その他 ()

Q 2 : あなたの職種は何ですか？該当するものに「○」をつけてください。

※複数該当する方は、現在の業務に関係する主たる職種1つを選択してください。

1. 介護支援専門員
2. 主任介護支援専門員
3. 訪問看護師
4. リハビリ職 (PT・OT・ST)
5. 事務員
6. その他 ()

Q 3 : 医療機関側から、利用者が入院したことの情報（第一報）の連絡がほしいのはどのような利用者ですか？（複数回答可）

1. すべての利用者
2. 入院前の状態まで回復しない（介護が必要になる）見込みの利用者
3. 退院後の介護サービスの内容が変わる見込みの利用者
4. 独居の利用者
5. 老老世帯など介護力に不安がある利用者
6. 服薬に不安がある利用者
7. 通院に関して不安がある利用者
8. 虐待等の恐れがある利用者
9. 特に希望はない
10. その他 ()

Q 4 : どのタイミングで利用者が入院したことの情報（第一報）が欲しいですか？

1. 入院当日に連絡が欲しい
2. 入院3日以内に連絡が欲しい
3. 退院支援の担当者が決まった段階で連絡してほしい
4. 院内スタッフと本人・家族で今後の方向性を話し合う段階で連絡してほしい
5. 退院前カンファや退院前自宅訪問日などを決めていく前に連絡がほしい
6. 特に希望はない（医療機関側にお任せでよい）
7. その他 ()

Q5：どのタイミングで利用者の退院日（退院見込み）の連絡が欲しいですか？

1. できるだけ早く連絡が欲しい（日程は曖昧でもかまわない）
2. 退院のおおよそ2週間前には連絡してほしい
3. 退院のおおよそ1週間前には連絡してほしい
4. 特に希望はない（医療機関側にお任せでよい）
5. その他（ ）

Q6：利用者に最も適したサービスを提供するために、退院調整の際、医療機関側にどのように対応して欲しいですか？（複数回答可）

1. 院内での治療・支援方針や予後の見立てを早めに共有してほしい
2. 病院スタッフが本人や家族と退院後について話し合いをするときには、事前に声をかけてほしい（もしくは内容を報告してほしい）
3. 個別に連絡を取りながら、一緒に退院前カンファレンスや退院前自宅訪問等の対応を協議して欲しい
4. 退院前カンファレンスなどの協議では、入院中の問題点を整理して、退院後の生活における具体的な注意点や必要な支援を提案してほしい
5. 退院前に一緒に自宅を訪問し、状況の確認をしてほしい
6. その他（ ）

Q7：退院に向けてプラン（ケアプラン・訪問看護計画）を作成するために、医療機関側からどのような情報が欲しいですか？（複数回答可）

1. 入院期間・退院予定（見込み）時期
2. 退院後の生活において困難が予測される要因や問題点・課題
3. 入院中の看護やリハビリの目標設定や支援内容
4. 退院後に援助が必要だと思われるADLやIADL
5. 退院後に利用が予想されるサービス等
6. 退院後に予測される病状の変化（進行の仕方や見通しなど）や必要な治療
7. 退院後の生活について本人・家族の希望
8. 疾病（病状）に対する本人・家族の理解度
9. その他（ ）

Q 8 その他（病院へお願いしたいこと）

【入院時】※自由記載

【入院中】※自由記載

【退院時】※自由記載

【退院後】※自由記載

【その他】※自由記載

北九州医療・介護連携プロジェクト会議
病院向け説明会
当日アンケート集計結果

別紙 5

日時 平成30年12月17日（月）18：30～20：00

場所 ウェルとばた 多目的ホール

参加者 52病院106名

（安藤構成員、閑地構成員、藤好構成員）

参考：アンケート集計結果より

門司	11名	救急（病棟）	5名
小倉北	31名	救急（連携）	25名
小倉南	19名	その他病院（病棟）	47名
若松	4名	その他病院（連携）	22名
八幡西	15名		
八幡東	12名		
戸畑	6名		



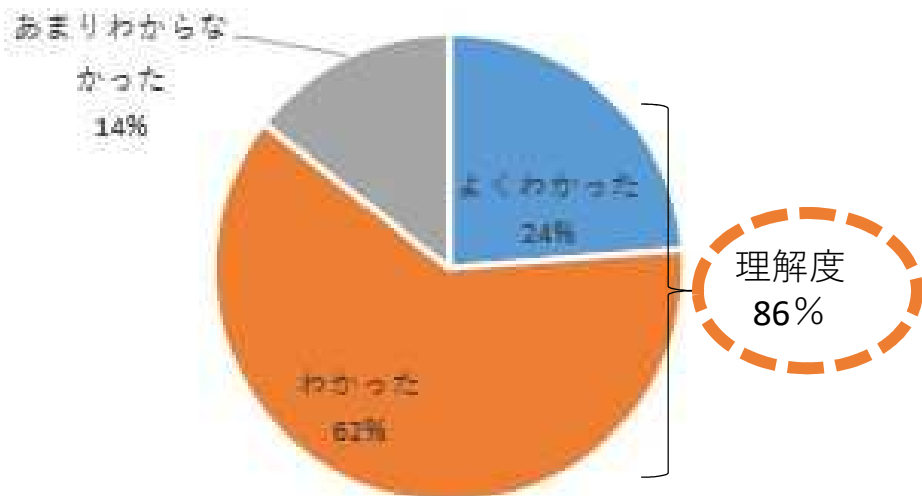
安藤構成員挨拶



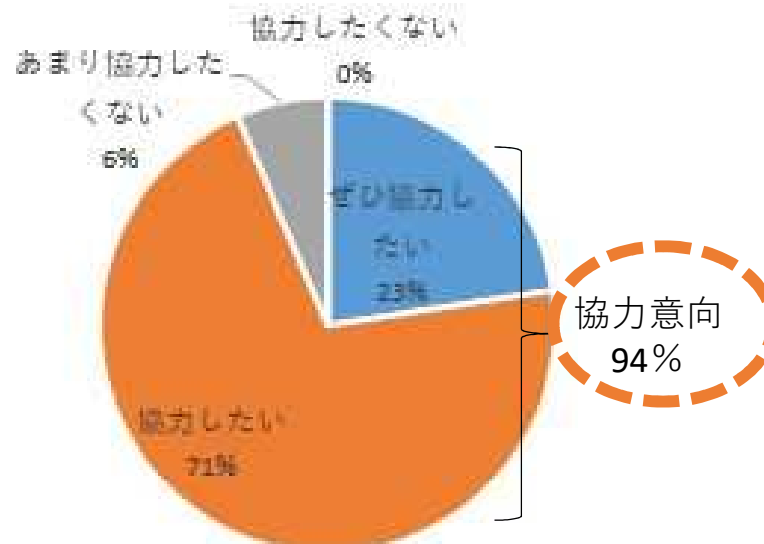
事務局説明

アンケート集計結果 有効回答数 99名（無記入含む）

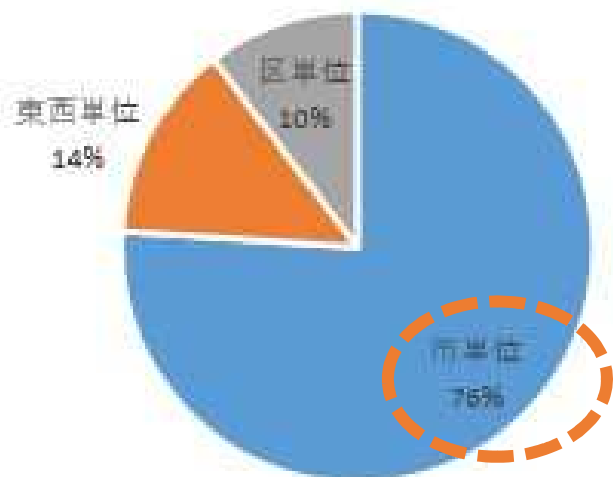
Q2. プロジェクト会議の趣旨・取組について



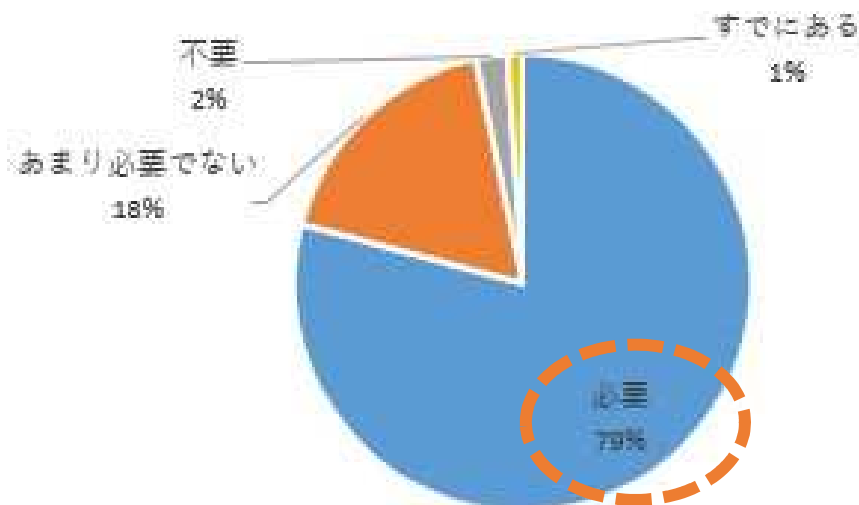
Q3. プロジェクト会議の取組に協力したいか



Q4. ルール・ツールはどの規模で行うのがよいか



Q5. 入退院支援関係部署の連絡会は必要か



北九州医療・介護連携プロジェクト会議
訪問看護事業所・CM事業所向け説明会
当日アンケート集計結果

別紙 6

日時 平成30年12月19日（水）18：30～20：00
場所 北九州市立商工貿易会館 2階 多目的ホール

日時 平成30年12月21日（金）18：30～20：00
場所 コムシティ 3階 大会議室

参加者 263名
（加藤構成員、白木構成員、坪根構成員）

参考：アンケート集計結果より

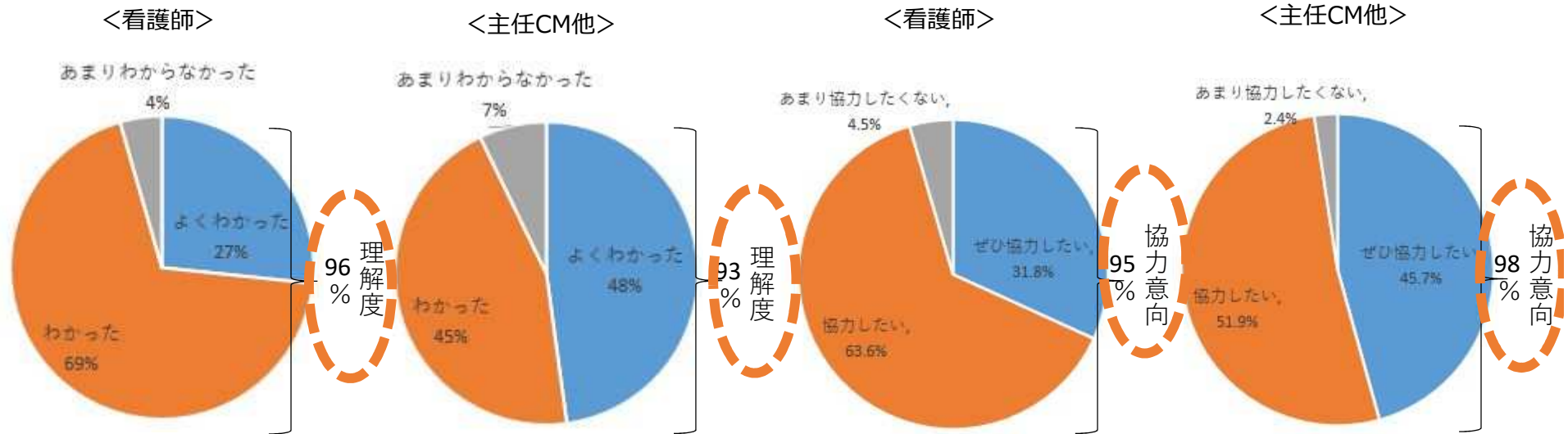
門司	32名	CM	104名
小倉北	49名	主任CM	94名
小倉南	44名	看護師	45名
若松	22名	事務員他	18名
八幡西	72名		
八幡東	30名		
戸畑	12名		



アンケート集計結果 有効回答数 261名（無記入含む）

Q3. プロジェクト会議の趣旨・取組について

Q4. プロジェクト会議の取組に協力したいか



Q5. ルール・ツールはどの規模で行うのがよいか

